

(別紙5) 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-152

補助事業名 平成26年度 宇宙分野の国際標準化推進に関する補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本航空宇宙工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

宇宙機器産業の売上を伸ばして利益を上げるには、宇宙機器の貿易拡大及び生産性向上が必須である。貿易拡大を目指す手段として、設計、試験、認定などの国際標準は日本にとって非常に重要である。よって、日本の得意分野を日本発の標準として提案していく必要がある。また、宇宙機器産業は、少量産の特異性から決して生産性は高くはなく、更に高信頼性が要求される分野である。

この生産性を向上するには、プロセス改善が必須であり、世界の企業・機関の知恵・情報が集る国際会議の場でそれらを吸収する国際標準活動が重要である。国際標準は、具体的製品に結び付いたものは貿易拡大に寄与し、またプロセスに関連するものは生産性向上に寄与する。特に具体的な製品に結びつく標準を日本から積極的に提案する事により、日本の貿易拡大・売上拡大を目指す。生産性向上のためには、国際標準会議の場を通じて世界の知恵を収集するのも大きな価値があると考え、戦略を持って会議に臨むことが重要と考えている。

(2) 実施内容

① 日本での国際会議の開催

ISO\_TC20/SC14 (宇宙システム・運用分科委員会) の総会が2014年5月26日 - 30日の会期で、東京で開催された。

② SJAC 会報誌による広報

● 航空と宇宙 平成26年7月号にて

「ISO\_TC20/SC14 (宇宙システム・運用分科委員会) の第24回通常総会 (東京) の開催」

<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201407/20140704.pdf>

## 2. 予想される事業実施効果

平成26年度は、ISO/TC20/SC14の国際会議(総会)を日本で開催する(12年に1回)。日本として成功裏に開催し国際貢献を果たすと共に今まで参加出来なかった国内委員が参加する最大のチャンスであり、今後の活動を更に活発化する上でも重要なものである。

この日本開催においては、日本提案のプロジェクトリーダーだけでなく、関係者が多く参加することで海外の指摘の全容、何が課題か、どのように対応すべきかを考えるいい機会である。

本事業の成果は、宇宙分野における売り上げの拡大(輸出の拡大)に寄与すると共に生産性、信頼性の向上に寄与する。また、国際プロジェクト(国際宇宙ステーションなど)を進める上で効率良く進めることが出来る。更に日本主導の積極的活動及び国際会議の上々の運営は、この分野における日本の国際的地位向上が図れ、今後の宇宙関連活動を有利に運ぶことが出来る。

## 3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：(一社)日本航空宇宙工業会(ニホンコウクウウチュウコウギョウカイ)

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者：会長 <sup>カマ</sup> 釜 <sup>カズアキ</sup> 和明

担当部署：<sup>ソウムブ</sup> 総務部

担当者名：部長 <sup>オオノ</sup> 大野 <sup>ジュン</sup> 潤

電話番号：03-3585-0511

F A X：03-3585-0541

E - m a i l：[j-ono@sjac.or.jp](mailto:j-ono@sjac.or.jp)

U R L：<http://www.sjac.or.jp>